

三陸沿岸部や沖合の震災瓦礫・ゴミに関わる生態調査と清掃活動

活動地域  宮城県石巻市・女川町

復興支援助成

3年目

実践

3年間のゴミ総量／450袋 **3,570袋**

3年間の延参加人数 **1,354人**

今年度計画の達成度 **85%**

目標達成度 **90%**



umihamaそうじの様子

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

月一のumihamaそうじでは開催場所へのアクセスのし易さや当日の天候によって参加者数にばらつきがでてしまう。特に冬時期の集客が大きな課題となっていた。

■ 工夫した点

マリナクティビティの開催や清掃地区の漁師さんを巻き込んで豪華なBBQをやるなど、とにかく大人も子どもも「楽しいから参加したい」と思えるイベントを目指してきた。

課題

3.11によって多くの瓦礫が海に流出した。川からの生活ゴミ等と一緒に沿岸部に溜まったり、マイクロプラスチックとなることで生態系や漁業への悪影響が懸念されている。

目標

月一の清掃活動を楽しく行い、漁業や生態系への悪影響を減らし綺麗な海を目指す。ゴミの現状を可視化し、海の生物の魅力などを伝えることで「捨てない活動」へと繋げる。

活動内容と成果

- 親潮と黒潮の潮目の瓦礫、ゴミ調査
 - 潮目のゴミを撮影 2回
 - 映像をYouTubeにUP
 - 忘年会兼報告会で参加者へ動画をお披露目
 - 計測したゴミのデータをPADIへ報告 2回
 - 三陸の海の生物を紹介する記事をHPへUP 12回
- umihamaそうじ
 - 月に1回の清掃活動を実施 1回は台風で中止
 - 参加者数 540人 内子ども56人
 - 海遊び体験教室 (SUP教室 1回、カヤック教室 1回、ビーチバレー 1回、浜のBBQ 2回)
 - 活動報告冊子の制作・発行 4,000部



水中の清掃作業

全助成期間の活動を振り返って

お陰様で今年で活動を始めて9年目となる。この3年間では目標としてきた参加者数を毎年増やすことができた。清掃活動だけでなく、これまでできなかった潮目に溜まるゴミの撮影やアクティビティ、海の生き物を紹介するブログなどいろいろな方法で海の魅力を伝えることができた。新しい試みをする中で参加者や地元住民、企業との繋がりもでき助成期間が終わっても長く活動を継続していってほしいと強く感じる。



潮目に溜まるゴミの撮影

〒986-2137
宮城県石巻市さくら町5丁目12-1
E-mail : info@i-umisakura.com
HP : http://i-umisakura.com



今後の展望

活動規模の拡大を目的とせず、他団体や地域のひととの繋がりを大切に、地域に根ざした活動を長期的かつ持続的に実施することを目指す。清掃活動だけでなく、アクティビティや伝統芸能と触れる機会を作ることにより、「ボランティア活動」ではなく「楽しい市民活動」という位置づけにしていく。大学研究機関と連携し、研究調査内容から海への理解を深め、海洋ゴミ問題への意識向上を図り、活動の継続的な参加へつなげる。